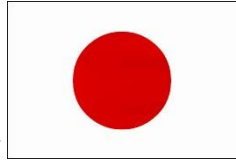




# ナミビア通信

～のんびり(Nombili)～



青年海外協力隊  
岩塚善哉  
7th. Jan. 2019 No.5

あけましておめでとうございます。2019年はどんな年にしたいですか。小さな目標でも何か掲げてみる  
といいですね。私は2019年を一年間ナミビアで過ごすこととなります。ここでの出会いや貴重な生活を大  
切にして活動に取り組んでいきたいと思っています。

## 新学期について(Back to school)

日本では3学期が始まりましたね。ナミビアは三学期制は日本と同じですが、1月が新年度となるため、1学年上の学年になります。(留年制度があるためすべての生徒が進級できるとは限りません。)

すべての学校ではありませんが、キリスト教徒がほとんどであるため、多くの学校では、全校生徒が教会へ行き、聖歌を歌いお祈りを捧げます。



[教会での一場面]

教会から学校へ戻ると教室の場所を確認したり、教科書を受け取ったりしていました。

## ナミビアでの年越し(New year in Namibia)

首都のWindhoekで年越しをしました。現地の歌手がライブをしており、カウントダウンに合わせて、盛大な花火が打ち上げられました。季節が反対で、日本とは異なる年越しだったからか、新年という実感があまりわきませんでした。日本では、除夜の鐘を聞き、初詣やお節料理を食べ、お正月を祝いますが、こうした日本の文化や行事を大切にしたい気持ちが生まれ、海外にいるからこそ感じるものがありました。



[年明けの花火]

## ウェルウィッチアを見に行きました。(I observed a Welwitschia)

ウェルウィッチア(Welwitschia)とは、この大きな植物のことです。日本名では、「奇想天外」という名前が付いています。この右のウェルウィッチアは、約500年生きていたとのこと。一見何枚もの葉があるように見えますが、実は、2枚の葉でできています。帯状の葉で、風などの外的要因によって擦り切れて裂け始め、このような形になります。長いものでは、2000年近く生きている個体もあり、生きた化石と言われています。ナミブ砂漠という砂漠に植生しており、ナミビアの国花



[500歳のウェルウィッチア]



ウェルウィッチアの植生分布

であり、長く繁栄するように願いがこめられ、国章にも使われています。また、ナミビアのラグビーチームの愛称が「ウェルウィッチアス」という名前です。今年の9月に日本で開催されるラグビーワールドカップの出場権を獲得しています。愛知県でもナミビアのチームが試合を行う予定です。「ウェルウィッチアス」をぜひ応援してください。



国章のウェルウィッチア



[ウェルウィッチアの周りは何もない]



[ウェルウィッチアス]



## 番外編

「こんなところで宿泊しました」満点の星空でした。